

1. 目指す学校像

建学の精神である校訓三綱領の『一、履正不畏(りせいふい)：自ら正しいと信ずることを、何ものにも畏れず勇気と責任を持って実践する。二、勤労愛好(きんろうあいこう)：勉学に全力をつくし、人類の文化を継承発展させ、国家社会に貢献する。三、報本反始(ほうほんはんし)：初心にかえり、自分の今日あるのは縁ある人々(保護者や恩師)のお陰であり、常に感謝と報恩の念を持ち、行動の指針とする。』の訓えをもとに、知性と豊かな人間性を有し、次世代を担える生徒を育成する。

2. 中期的(令和4年度)教育指導 重点目標

(1) 知育尊重と人間教育

1. 進学指導の充実と進学実績の向上
2. 生徒を集中させる熱意ある教科指導
3. 各コース(3ヵ年/6ヵ年)の特性を活かした学習・進学指導

(2) 創立100周年を迎え、私立進学校・履正社として更なる飛躍を目指すため、ニーズに応える信頼の構築

1. 生徒・保護者からの信頼づくり
2. 社会性の育成と地域に信頼される学校づくり

(3) 環境・システムの醸成

1. 心豊かで潤いのある学校生活

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和4年度末]	学校運営協議会からの意見
<p><b>【生徒】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校生活は楽しい。 ( 令和3年度：89.6% 令和4年度：88.0% )</li> <li>・ 授業に先生方の熱意が感じられる。 ( 令和3年度：85.4% 令和4年度：86.3% )</li> </ul> <p><b>【保護者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者としてこの学校に子供を通わせて満足している。 ( 令和3年度：86.4% 令和4年度：88.5% )</li> <li>・ 授業に先生方の熱意が感じられる。 ( 令和3年度：84.6% 令和4年度：89.2% )</li> </ul> <p><b>【教職員】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ①教員は授業に対する十分な教材研究・事前学習に努めている。 ( 令和3年度：87.0% 令和4年度：87.0% )</li> <li>・ ②生徒はしっかりと集中して授業を受ける体制が出来ている。 ( 令和3年度：65.2% 令和4年度：69.6% )</li> </ul> <p><b>【学校運営全般】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒と保護者の全体質問(生徒：40問、保護者：38問)に対する肯定回答比率(四捨五入で7割を肯定目途とする)は、生徒は昨年と変わらずの90%であった。また保護者の方は、令和3年度の81.6%から令和4年度では、86.8%と上昇した。特に(6. 授業参観)の項目では、令和3年度の34.0%の肯定回答比率が令和4年度で、92.6%と大きく上昇している。コロナの鎮静化に伴いコロナ禍以前のように学校活動が盛んに行われ、保護者の方からも学校行事等を見て頂く機会が昨年度よりも大幅に増えたのが要因であると推察できる。ただ(33.学校の保護者会活動は活発である)の項目においては令和3年度の49.4%から令和4年度は58.9%とまだまだ満足する数値には至っていない。本校ではICT活用が3年目となり、徐々にではあるが、先生方に浸透してきた感がある。そういう機器も積極的に利用し、活発な活動をし、期待に応えられるよう努めたい。</li> </ul>	<p>*令和4年度教職員による自己評価、及び生徒・保護者による関係者評価に基づき、令和3年度(昨年度)と対比しながら総括する。</p> <p>議題：学校の危機管理について 数値で検証すると、生徒では令和3年度は77.6%、令和4年度は、84.6%の満足度、保護者では、令和3年度は74.8%、令和4年度は80.4%と、どちらの数値も令和3年度から上昇している。しかし職員の自己評価では、令和3年度は56.5%、令和4年度は47.8%の満足度となり、下降している。令和3年度は避難訓練を1回しか実施出来なかったのが、令和4年度では、1学期・2学期の2回実施することが出来たので、生徒や保護者の目からは、満足度が増えた感はあるが、職員からは、まだまだ不十分であるという評価となった。近年災害意識が高まっている中、常日頃より三者一丸となって危機管理意識を高めていきたい。</p> <p>議題：授業運営について 特に自己評価N020「生徒はしっかり集中して授業を受けることが出来ている」に関して検証すると、令和2年度(2年前)は81.5%、令和3年度(昨年度)の評価は65.2%で16.3%下降し、令和4年度では69.6%となり、若干ではあるが上昇しているのだが、まだまだ及第には至っていない。コロナ禍での生活が続き、ICT活用で授業の確保はできるようになったのだが、内容については不十分だった。授業内容を精査し、生徒が集中できる環境づくりに励みたい。職員はこれからも生徒にしっかり寄り添い、今まで以上に家庭と一体となった両輪指導に努めたい。</p> <p>最後に学校長が、「職員・生徒・保護者の年度末アンケートで、左記の【学校運営全般】の肯定的回答の数字を見れば、本年度も大過なく順調に学校運営がなされたと評する。今後も生徒達の小さなサインに反応し、家庭と両輪の指導を是非継続的にお願いしたい」との会の総評を確認した。</p>

3. 本年度の取り組み内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指数	自己評価
<p>(1) 知育尊重と人間教育</p>	<p>1. 進学指導の充実と進学実績の向上</p> <p>あ) 3 い) 38 う) 40 え) 41</p> <p>2. 生徒を集中させる熱意ある教科指導</p> <p>あ) 19 い) 21</p> <p>3. 3カ年・6カ年の各コースの特性を活かした学習・進学指導</p> <p>あ) 26 い) 27</p>	<p>1. 教員間の信頼関係のもと、生徒の学校生活向上のため様々な教育的情報交換を積極的に行い、教育活動に活かせるように努めている。</p> <p>い) 生徒の実態・実情に即し、授業内容や教材について適宜職員間で意見交換をし、授業や指導に役立てよう努めている。</p> <p>う) 人権問題や大学入試改革を見据え、必要に応じて講師を招聘し、効率的・効果的に学内研修に参加できる体制は整っており、積極的に参加している。</p> <p>え) 研修に参加した教員は、出来る限りその成果を他の教員と共有するよう情報交換に努めている。</p> <p>2. 教員は授業に対する十分な教材研究・事前準備に努めている。</p> <p>い) 学習内容はクラスのグレード編成に応じて効果的に展開されている。</p> <p>3. 教員間の相互理解・信頼関係に基づき教育活動を実践する。</p> <p>い) 個々の生徒について状況などを把握するため、各教員は平素より担任・学年との意思疎通を図るよう努めている。</p>	<p>1. あ) 70%以上 い)～え) の平均指数 70%以上</p> <p>2. あ)～い) の平均指数 80%以上</p> <p>3. あ) 70%以上 い) 80%以上</p>	<p>1. あ) 令和3年度は82.6%、令和4年度は78.3%と及第点の範囲内ではあるが、若干下降した(Δ)。本校ではICT(Classi)を活用し、様々な教育的情報の交換を積極的に行えるようにはなったが、まだ浸透していない部分があるようだ。この結果を踏まえてこれからも精進し、更なる研鑽に努めたい。</p> <p>い)～え) 令和3年度の平均値は53.6%、令和4年度は40.5%で大きく下降した(X)。職員間の研修への参加意識(中学校の場合は、大学入試を対象に予備校が主催する入試科目等の研修はないが、全学規模【中高合同研修】の教職員人権研修がメイン研修となる)は高いレベルで実施されているのだが、教職員人権研修しか実施出来なかったことが要因の一つに挙げられる(X)。</p> <p>2. あ)～い) の令和3年度の平均値は84.8%、令和4年度も令和3年度同様84.8%に至り高水準を維持している(O)。令和4年度においては、保護者の学校評価にある(4. この学校に子供を通わせて満足している)の項目は88.5%、生徒の(1. 学校生活は楽しい)の項目も88.0%と高水準を維持している。正に私学の理想的な三位一体となった展開を嬉しく思う。本校に託された期待をしっかりと受け止め、更にきめ細かな教育を心がけたい。</p> <p>3. あ) 分析は1-あ)を参照(Δ)。 い) 令和3年度は87.0%、令和4年度は95.7%と高水準を維持している(O)。この観点こそ、私学に子供を託す保護者の思いが一番込められていると認識し、更に期待に応えられるよう継続的な努力をしてゆく。</p>
<p>(2) 創立100周年を乗り越え、私立進学校・履正社と信頼の構築</p>	<p>1. 生徒・保護者からの信頼づくり</p> <p>あ) 24・28 30・32</p> <p>い) 25・29 31・33</p> <p>う) 34</p> <p>2. 社会性の育成と地域に信頼される学校づくり</p> <p>あ) 11・12</p>	<p>1. 生徒・保護者には次のあ)・い)・う)の観点信頼作りの基盤とする。</p> <p>あ) 生徒の生活指導・進路指導・欠席過多の場合、組織的に対応する体制を整える。</p> <p>い) 上記あ)に対する指導は、常に保護者と連携を取り学校と家庭の両輪で指導を行う。</p> <p>う) 生徒の転・退学に至るまでの十分な指導と、保護者との密な連携を常に心掛ける。</p> <p>2. あ) 地域住民に対し、施設・設備の貸し出しや、交流を積極的に図る。</p>	<p>1. あ) の平均指数 80%以上 い) の平均指数 80%以上 う) の平均指数 80%以上</p> <p>2. あ) の平均指数 70%以上</p>	<p>1. あ) 令和3年度は77.2%、令和4年度は69.6%と下降している(X)。その内容を令和3年度同様にい)で検証する。</p> <p>い) 令和3年度は84.8%、令和4年度は83.7%と昨年度より下降しているが、高水準は維持していると考えている(Δ)。また、これに関する令和4年度において保護者対象の14・31の2つの項目で検証すると、14は83.1%、31は95.3%と及第点となる肯定的回答を得ており、両方で両輪指導が適切になされていることが検証できた(O)。</p> <p>う) 令和4年度の指数は前年比と同様の87.0%となり、数字的には十分な合格点である(O)。このケースに至る例は殆どないが、至れば上記い)で言及しているように何とか回避すべく、家庭との両輪指導で対応している。</p> <p>2. あ) 令和3年度は63.1%、令和4年度は67.4%と上昇しているが、まだまだ改善すべき項目である(Δ)。コロナの影響で、地域の方に対しての交流が持ていなかったのが、最大の要因であると推察できる。</p>
<p>(3) 環境・システムの醸成</p>	<p>心豊かで潤いのある学校生活</p> <p>あ) 6・7・8</p> <p>い) 9・10</p> <p>う) 17・18</p>	<p>あ) ホームページ、学校・学年・学級から保護者への情報提供と授業公開を定期的に行い、開かれた学校づくりに努める。</p> <p>い) 危機管理マニュアルを踏まえ、警察・消防等の関係機関との連携に努め、適切な校内訓練のシステムを構築する。</p> <p>う) 環境教育の一環として、ゴミの分別・日々の清掃指導の徹底を図る。</p>	<p>あ) の平均指数 80%以上 い) の平均指数 80%以上 う) の平均指数 80%以上</p>	<p>あ) 令和3年度は69.6%、令和4年度は66.7%と若干ではあるが下降している(X)。ICTを活用し、保護者への情報発信に努めてきたが、ますます開かれた学校づくりを目指して、タイムリーな情報サービスに努めたい。</p> <p>い) 令和3年度は65.2%、令和4年度は45.7%と前年比-19.5%と大きく下降した(X)。令和4年度は豊中警察署のスクールサポーターとも協議の上、3月に「SNSに関する問題点」の講演を実施し、資料配布なども行ったのだが、まだまだ浸透していない感がある。ただ保護者対象の34危機管理の項目では、令和3年度の74.8%から令和4年度では80.4%となり、前年比+5.6%と肯定的解答を得られている。</p> <p>う) 令和3年度は69.6%、令和4年度は71.8%と微増を示したが及第には至らない(Δ)。ただ令和元年度(3年前)と比較すると+10.3%上昇しており、少しずつではあるが、生徒達の美化意識にも変化が見えてきたのではないかと考えている。今後も更なる継続指導に努めたい。</p>